

平成15年8月5日

各 位

会社名 株式会社 千葉銀行
代表者名 取締役頭取 早川恒雄
(コード番号 8331 東証第一部)
問合せ先 取締役経営企画部長 佐久間 英利
(TEL. 043 - 245 - 1111)

平成16年3月期 第1四半期情報の開示について

当行の平成16年3月期第1四半期(平成15年4月1日から平成15年6月30日まで)における四半期情報について、お知らせします。

なお、以下に記載する数値は、監査法人による監査を受けておりません。

(注)記載金額、比率は単位未満を切り捨てて表示しております。

1. 「金融再生法ベースのカテゴリーによる開示」(単体)

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
	平成15年6月末	平成14年12月末	平成15年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,509	1,759	1,513
危険債権	1,717	1,870	1,770
要管理債権	2,129	2,344	2,002
合 計	5,356	5,974	5,286

当行は、部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権は次のとおりです。部分直接償却実施行との比較にご参照下さい。

	(単位:億円)		(参考) (単位:億円)
<部分直接償却後>	平成15年6月末	平成14年12月末	平成15年3月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	550	606	550
危険債権	1,717	1,870	1,770
要管理債権	2,129	2,344	2,002
合 計	4,397	4,821	4,322

(注)上記の各四半期末の計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第4条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。

また、各計数は、各四半期末を基準日として、当行の定める資産の自己査定基準に基づき営業関連部署が自己査定を実施して算出しております。

債務者区分との関係

破産更生債権及びこれらに準ずる債権(実質破綻先、破綻先の債権)

危険債権(破綻懸念先の債権)

要管理債権(要注意先のうち、元本又は利息の支払いが3ヵ月以上延滞しているか、又は貸出条件を緩和している債権)

2. 自己資本比率（国際統一基準）

（参考）

	平成 15 年 9 月末（予想値）	平成 15 年 3 月末（実績）
連結自己資本比率	10%台半ば	10.42%
連結Tier 比率	6%台後半	6.63%

（注）上記予想値は、経営環境に関する前提条件の変化等に伴い変動することがあります。

3. 時価のある有価証券の評価差額（単体）

（単位：億円）

（参考）

（単位：億円）

	平成 15 年 6 月末				平成 14 年 12 月末				平成 15 年 3 月末			
	時価	評価差額			時価	評価差額			時価	評価差額		
		うち益	うち損			うち益	うち損			うち益	うち損	
その他 有価証券	13,195	22	252	275	12,165	184	228	412	13,250	156	189	345
株式	1,292	67	129	197	1,299	179	109	289	1,170	199	70	269
債券	8,867	12	50	37	7,834	50	63	12	9,112	40	62	21
その他	3,036	32	72	39	3,030	55	54	110	2,967	2	56	54

（注）1. 各四半期末の「評価差額」及び「含み損益」は、各四半期末時点の帳簿価額（償却原価法適用前、減損処理前）と時価との差額を計上しております。なお、参考は、平成 15 年 3 月末の実績値（償却原価法適用後、減損処理後）を記載しております。

2. 有価証券のほか、譲渡性預け金も含めております。

3. なお、満期保有目的の債券、子会社・関連会社株式で時価のあるものはありません。

4. デリバティブ取引（単体）

（1）金利関連取引

（単位：億円）

（参考）

（単位：億円）

区分	種類	平成 15 年 6 月末			平成 14 年 12 月末			平成 15 年 3 月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	金利先物	49	0	0	49	0	0	-	-	-
店頭	金利スワップ	3,933	7	7	3,713	3	3	3,913	6	6
	その他	1,419	0	0	373	0	0	1,062	1	1
	合計			6			3			8

（注）ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(2) 通貨関連取引

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

区分	種類	平成 15 年 6 月末			平成 14 年 12 月末		
		契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	通貨先物	-	-	-	-	-	-
店頭	通貨スワップ	2,105	1	1	876	0	0
	為替予約	71	0	0	-	-	-
	通貨オプション	252	0	0	-	-	-

平成 15 年 3 月末		
契約額等	時価	評価損益
-	-	-
1,885	1	1
-	-	-
-	-	-

(注) 1. ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引及び下記注3.の取引は、上記記載から除いております。

2. 従来、引き直し対象の先物為替予約、通貨オプション等は、当四半期からは上記に含めて記載しております。

3. 期間損益計算を行なっている通貨スワップ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

なお、従来、期間損益計算を行っていた通貨スワップ取引は、当四半期からはヘッジ会計を適用しておりますので、下記記載から除いております。

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

種類	平成 14 年 12 月末		
	契約額等	時価	評価損益
通貨スワップ	575	9	9

平成 15 年 3 月末		
契約額等	時価	評価損益
372	0	0

また、先物為替予約、通貨オプション等のうち、引き直しを行なっている通貨関連のデリバティブ取引の契約額等は、下記のとおりであります。

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

区分	種類	平成 14 年 12 月末
		契約額等
取引所	通貨先物	-
店頭	為替予約	69
	通貨オプション	105

平成 15 年 3 月末	
契約額等	
-	
58	
225	

(3) 株式関連取引

該当ありません。

(4) 債券関連取引

(単位：億円)

(参考) (単位：億円)

区分	平成 15 年 6 月末			平成 14 年 12 月末		
	契約額等	時価	評価損益	契約額等	時価	評価損益
取引所	62	0	0	49	0	0
店頭	250	0	0	100	0	0
合計			0			0

平成 15 年 3 月末		
契約額等	時価	評価損益
24	0	0
-	-	-
		0

(注) ヘッジ会計が適用されているデリバティブ取引は、上記記載から除いております。

(5) 商品関連取引

該当ありません。

(6) クレジットデリバティブ取引

該当ありません。

5. 貸出金・預金の残高(単体・未残)

(1) 貸出金

(単位:億円)

	平成 15 年 6 月末		
		15/3 比	14/6 比
貸 出 金	57,143	1,079	33
うち住宅ローン	15,124	334	1,090
中小企業等向け貸出金	43,133	440	298
中小企業等貸出比率(注)	85.35%	0.46%	0.80%

(参考)

(単位:億円)

平成 15 年 3 月末	平成 14 年 6 月末
56,064	57,176
14,789	14,034
42,693	43,432
85.81%	84.54%

(注) 中小企業等貸出比率 = 中小企業等向け貸出金 / 国内貸出金 (除く公共向け貸出金)

(2) 預 金

(単位:億円)

	平成 15 年 6 月末		
		15/3 比	14/6 比
預 金	73,819	2,070	138
うち個人預金	55,618	1,664	1,186

(参考)

(単位:億円)

平成 15 年 3 月末	平成 14 年 6 月末
71,749	73,680
53,953	54,432

以 上